【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和6年2月28日(2024.2.28)

【国際公開番号】WO2023/002653
【出願番号】特願2023-536587(P2023-536587)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ 11/36(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ 11/36

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月22日(2023.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示に係る空気調和機は、送風機を運転して空調空気を給気ダクトにより室内に給気する空気調和機であって、外気を取り込む外気口、給気ダクトが接続され、外気口から取り込まれた外気を室内に給気する給気口、室内から空気を取り込む還気口および還気口から取り込まれた空気を室外に排気する排気口が形成された筐体と、筐体内に形成され、外気口と給気口とを連通する外気側風路と、筐体内で外気側風路とは分離して形成され、還気口と排気口とを連通する排気側風路と、外気側風路に配置され、冷媒が流れる室内熱交換器と、外気側風路に配置され、運転時に外気口から給気口および給気ダクトを介して室内へ向かう気流を発生させる送風機と、給気口を開閉するダンパであって、送風機の運転時に開放され、送風機の停止時に閉止される給気ダンパと、筐体に形成され、外気側風路を外部に開放する開放口と、開放口を開閉する開放ダンパと、を有し、開放ダンパは、送風機の運転時に閉止され、送風機の停止時に開放されるものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
送風機を運転して空調空気を給気ダクトにより室内に給気する空気調和機であって、
外気を取り込む外気口、前記給気ダクトが接続され、前記外気口から取り込まれた外気を室内に給気する給気口、前記室内から空気を取り込む還気口および前記還気口から取り込まれた空気を室外に排気する排気口が形成された筐体と、
前記筐体内に形成され、前記外気口と前記給気口とを連通する外気側風路と、
前記筐体内で前記外気側風路とは分離して形成され、前記還気口と前記排気口とを連通する排気側風路と、
前記外気側風路に配置され、冷媒が流れる室内熱交換器と、
前記外気側風路に配置され、運転時に前記外気口から前記給気口および前記給気ダクトを介して前記室内へ向かう気流を発生させる前記送風機と、
前記給気口を開閉するダンパであって、前記送風機の運転時に開放され、前記送風機の停止時に閉止される給気ダンパと、前記筐体に形成され、前記外気側風路を外部に開放する開放口と、

前記開放口を開閉する開放ダンパと、を有し、
前記開放ダンパは、前記送風機の運転時に閉止され、前記送風機の停止時に開放される空気調和機。
【請求項２】
前記還気口と前記室内とを連通する還気ダクトと、
前記還気口を開閉する還気ダンパと、
前記外気口を開閉する外気ダンパと、
前記排気口を開閉する排気ダンパと、
前記排気側風路に配置され、前記室内から前記還気ダクトおよび前記還気口を介して前記排気口に向かう気流を発生させる還風機と、を有し、
前記還気ダンパ、前記外気ダンパおよび前記排気ダンパは、前記送風機および前記還風機の停止時に閉止される請求項１記載の空気調和機。
【請求項３】
前記給気ダンパおよび前記還気ダンパの密閉度は、前記外気ダンパおよび前記排気ダンパの密閉度よりも高い請求項２記載の空気調和機。
【請求項４】
送風機を運転して空調空気を給気ダクトにより室内に給気する空気調和機であって、
外気を取り込む外気口、前記給気ダクトが接続され、前記外気口から取り込まれた外気を室内に給気する給気口、前記室内から空気を取り込む還気口および前記還気口から取り込まれた空気を室外に排気する排気口が形成された筐体と、
前記筐体内に形成され、前記外気口と前記給気口とを連通する外気側風路と、
前記筐体内で前記外気側風路とは分離して形成され、前記還気口と前記排気口とを連通する排気側風路と、
前記外気側風路に配置され、冷媒が流れる室内熱交換器と、
前記外気側風路に配置され、運転時に前記外気口から前記給気口および前記給気ダクトを介して前記室内へ向かう気流を発生させる前記送風機と、
前記給気口を開閉するダンパであって、前記送風機の運転時に開放され、前記送風機の停止時に閉止される給気ダンパと、
前記還気口と前記室内とを連通する還気ダクトと、
前記還気口を開閉する還気ダンパと、
前記排気側風路に配置され、前記室内から前記還気ダクトおよび前記還気口を介して前記排気口に向かう気流を発生させる還風機と、
前記筐体内を前記外気側風路と前記排気側風路とに分離する隔壁と、
前記隔壁に形成され、前記外気側風路と前記排気側風路とを連通する連通口と、
前記連通口を開閉する貫通ダンパと、を有し、
前記送風機の停止時に、前記貫通ダンパが開放、前記給気ダンパおよび前記還気ダンパが閉止され、前記還風機が運転することで、前記外気口から前記連通口を介して前記排気口に排気される気流が生成される空気調和機。
【請求項５】
前記連通口は、前記室内熱交換器の風上に形成されている請求項４記載の空気調和機。
【請求項６】
前記給気ダンパの密閉度は前記還気ダンパの密閉度よりも高い請求項２～請求項５のいずれか一項に記載の空気調和機。
【請求項７】
前記給気ダンパは、通電時に開放され、非通電時に閉止される請求項１～請求項６のいずれか一項に記載の空気調和機。
【請求項８】
前記開放ダンパは、通電時に閉止され、非通電時に開放される請求項１－３、請求項２－３に従属する請求項６のいずれか一項に記載の空気調和機。
【請求項９】

前記還気ダンパは、通電時に開放され、非通電時に閉止される請求項４－５、請求項４－５に従属する請求項６のいずれか一項に記載の空気調和機。

【請求項１０】

前記貫通ダンパは、通電時に閉止され、非通電時に開放される請求項４－５、請求項４－５に従属する請求項６のいずれか一項記載の空気調和機。

【請求項１１】

前記給気ダクトは、複数の前記室内に向けて延びており、複数の前記室内のそれぞれに対応して設けられた吹出口から複数の前記室内のそれぞれに向けて前記空調空気を吹き出す請求項１～請求項１０のいずれか一項に記載の空気調和機。

【請求項１２】

前記外気口から取り込まれた外気と前記還気口から取り込まれた室内の空気とを熱交換する全熱交換器を有する請求項１～請求項１１のいずれか一項に記載の空気調和機。